

都市ガス事業者の現状

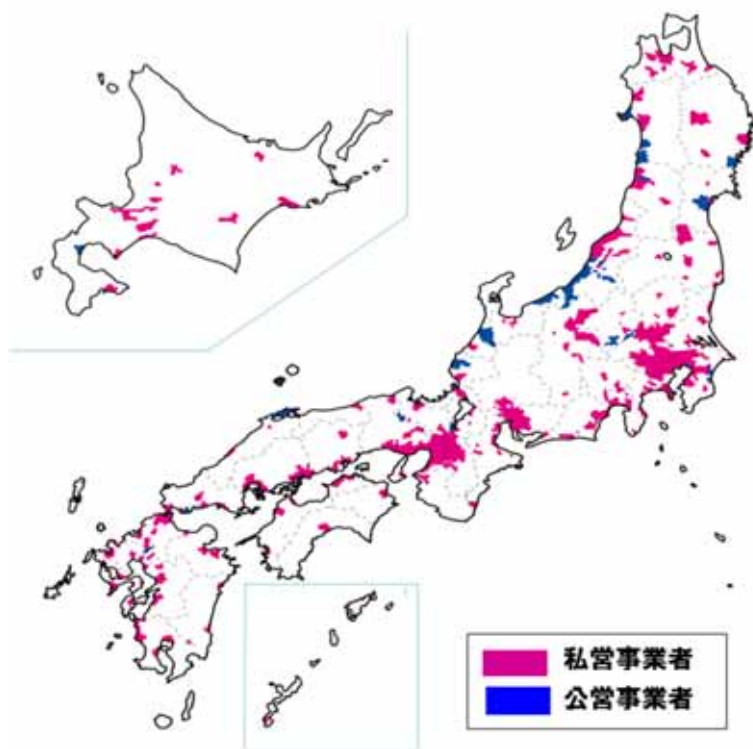
平成28年9月5日
一般社団法人 日本ガス協会



1. 都市ガス事業の現状(供給区域と件数)

都市ガス事業は、都市部を中心に普及し、供給区域は国土の6%弱
お客さま件数は、LPガスとほぼ同規模の2,833万件（電力の約半分）
都市ガスは、大小さまざまな203社が地域に密着して事業を展開

都市ガス事業者の供給区域



お客さま（家庭用）件数

事業名	お客さま件数	供給事業者数
一般ガス事業	2,833万件 (メーター取付数)	203事業者
LPガス販売事業	約2,400万件	約19,500事業者
(旧)一般電気事業	約5,900万件	10事業者
(参考)総世帯数	約5,700万件	

日本ガス協会調べ

1. 都市ガス事業の現状(事業規模)

私营ガス事業者の約8割が中小事業者
 都市ガス事業者の9割以上が従業員数300人以下

資本金・従業員数別一般ガス事業者数

	従業員数					事業者数計
	10人以下	11～50人	51～100人	101～300人	300人超	
私营事業者	26	93	25	20	13	177
資本金 3千万円以下	7	10	1	-	-	18
資本金 3千万円以下～3億円	17	78	21	7	-	123
資本金 3億円超	2	5	3	13	13	36
公营事業者	6	15	2	2	1	26
合計	32	108	27	22	14	203

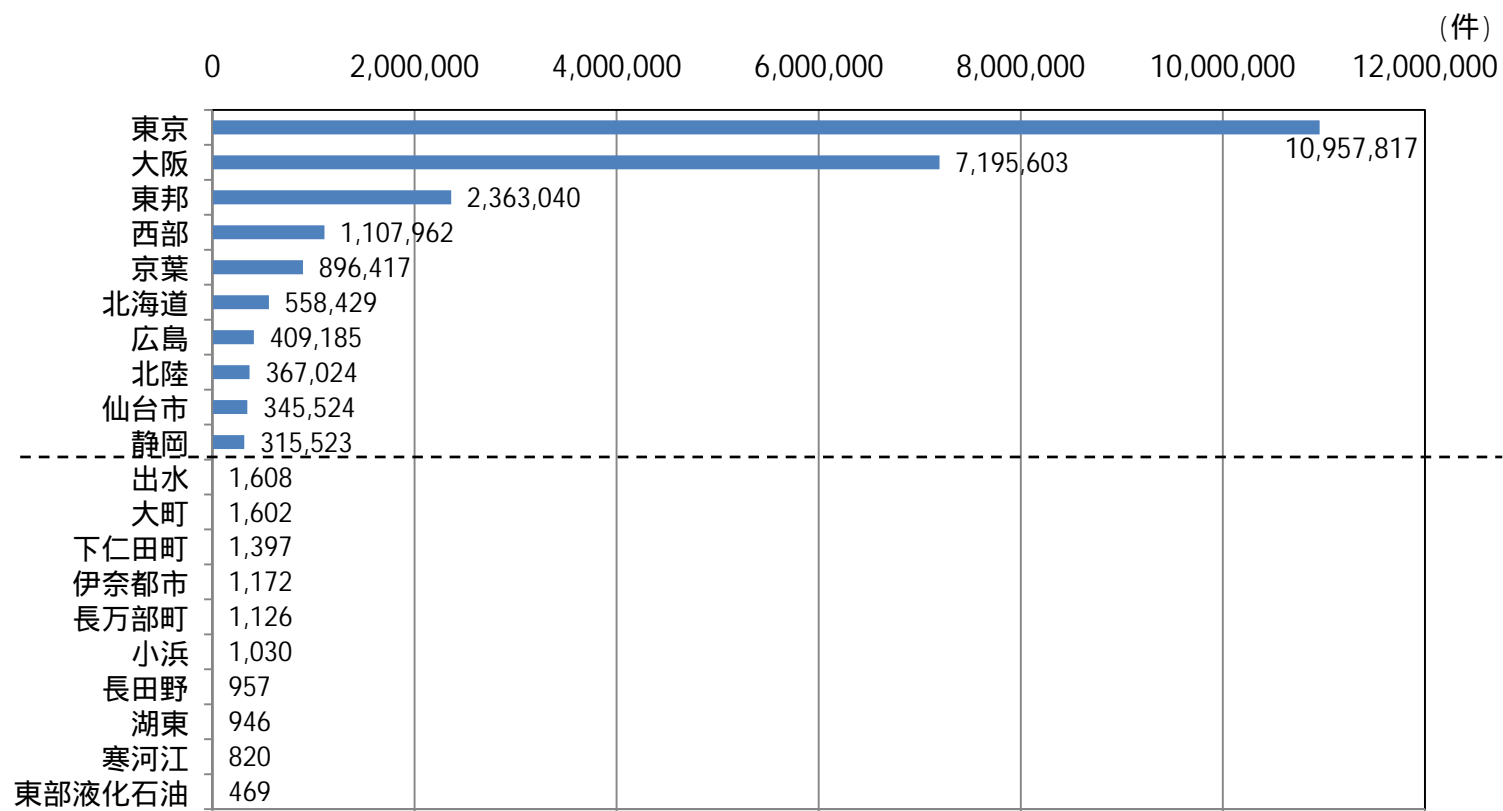
中小事業者
 (141社)

従業員数300人以下 (189社)

1. 都市ガス事業の現状(お客さま件数)

お客さま件数1千万件超の事業者から数百件の事業者まで幅広く存在
上位10社で、全国のお客さまの8割以上を占める状況

お客さま数(上位10社・下位10社を抽出)



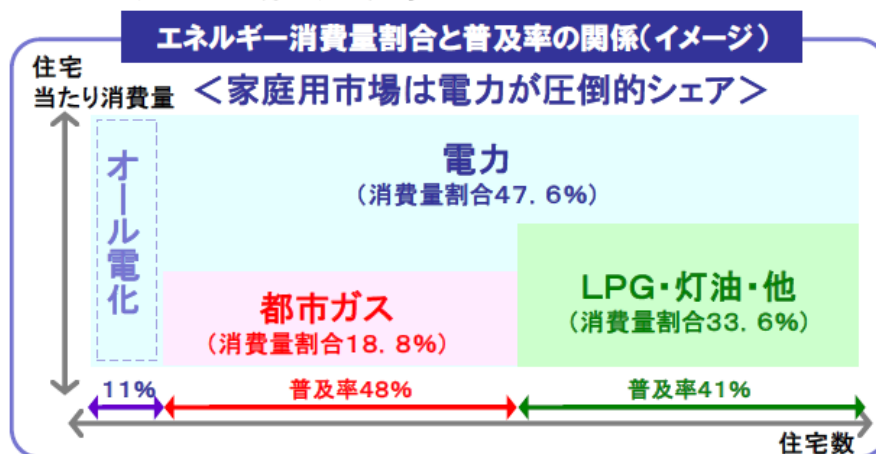
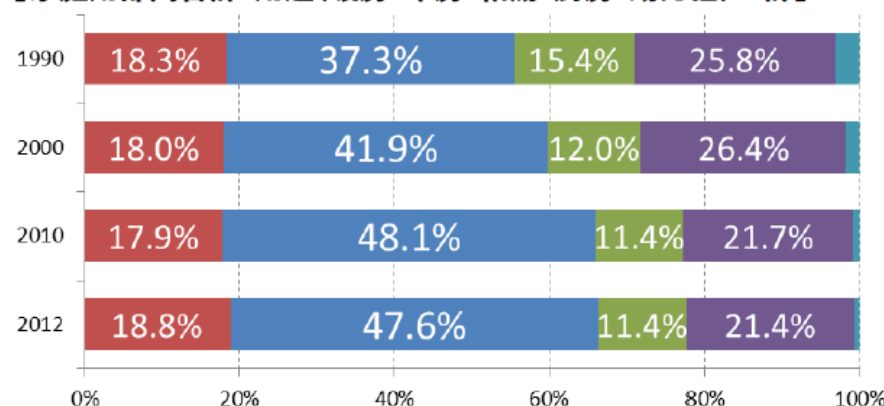
1. 都市ガス事業の現状(競合環境)

都市ガスの需要は、他のエネルギーによる代替・補完が可能であるため、他のエネルギーとの競合環境にある。

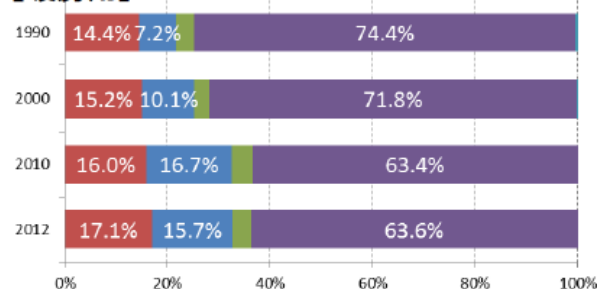
家庭用部門エネルギー源別エネルギー消費量割合【縦軸:年度、横軸:割合(%)】

■...都市ガス ■...電力 ■...LPガス ■...灯油 ■...その他(太陽熱、石炭等)

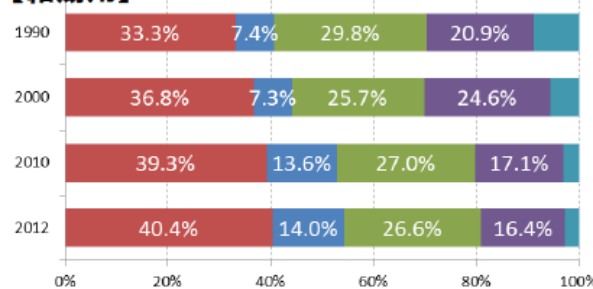
【家庭用部門合計:用途(暖房・冷房・給湯・厨房・動力他)の計】



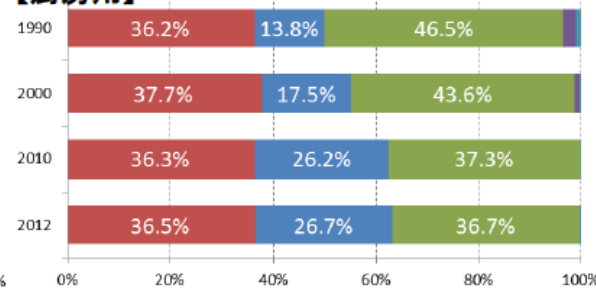
【暖房用】



【給湯用】



【厨房用】



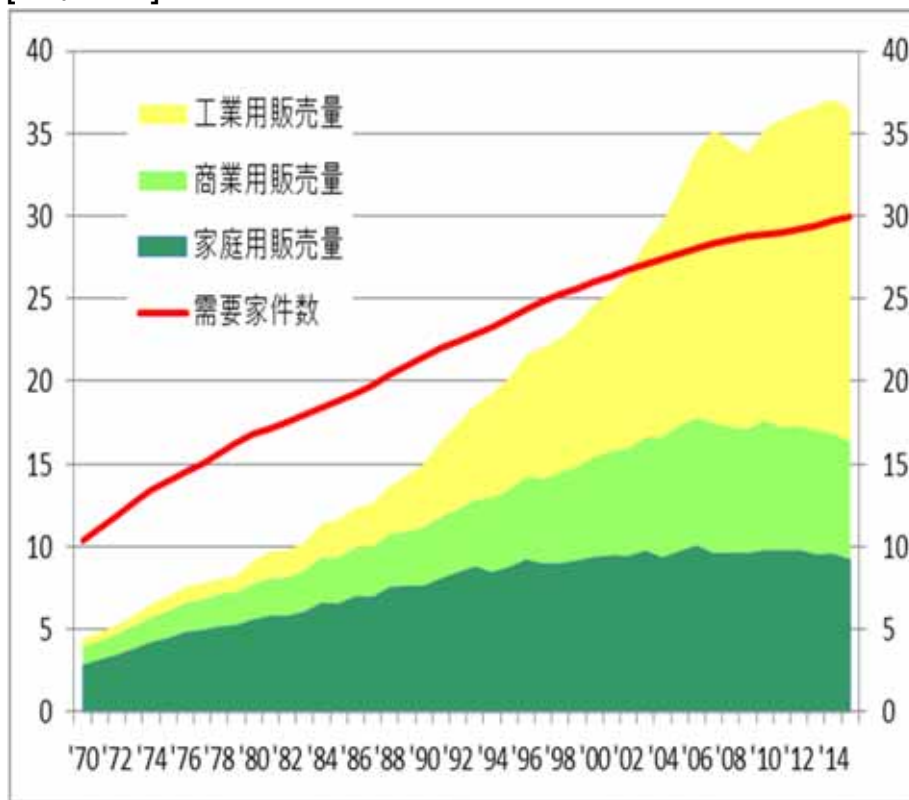
「冷房」・「動力他」は100%電力

1. 都市ガス事業の現状(ガス販売量とお客さま件数の推移)

競争環境のなか、省エネルギーをはじめとした様々なサービスによりお客さまに都市ガスを選択いただき、需要を伸ばしてきた。

都市ガスの販売量とお客さま件数の推移

[10億 m³]



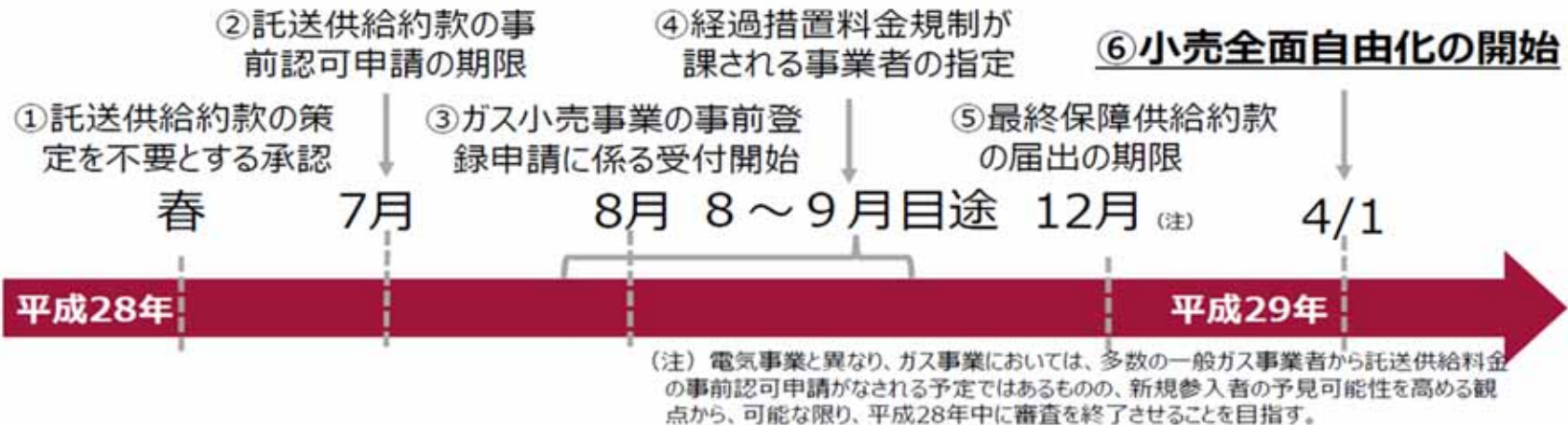
・販売量 : 365億m³
・お客さま件数 : 2,998万件
いずれも平成27年度

日本ガス協会調べ

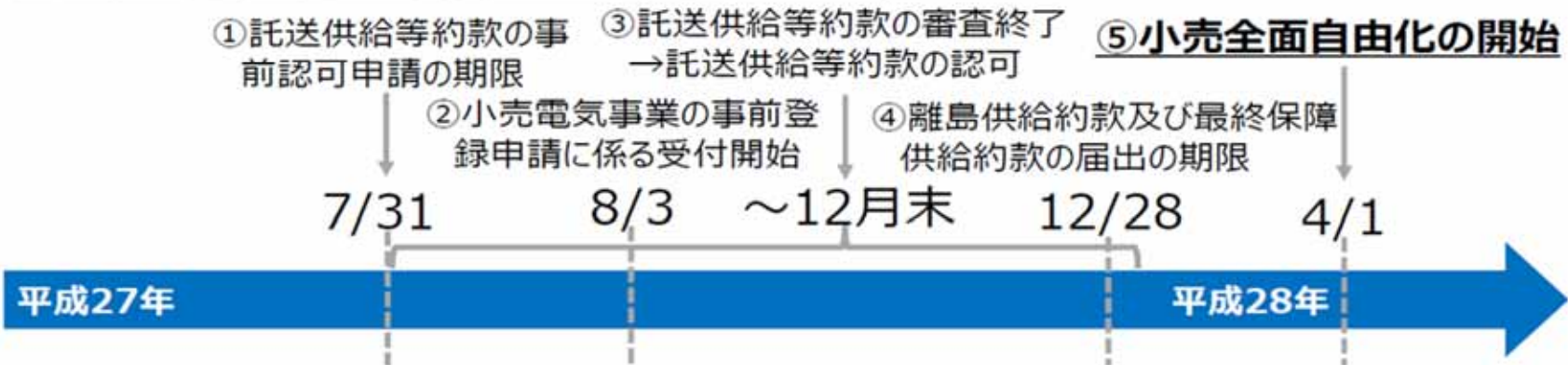
2. 小売全面自由化に向けた作業(スケジュール)

H28.4:電力小売全面自由化。H29.4:ガス小売全面自由化へ。

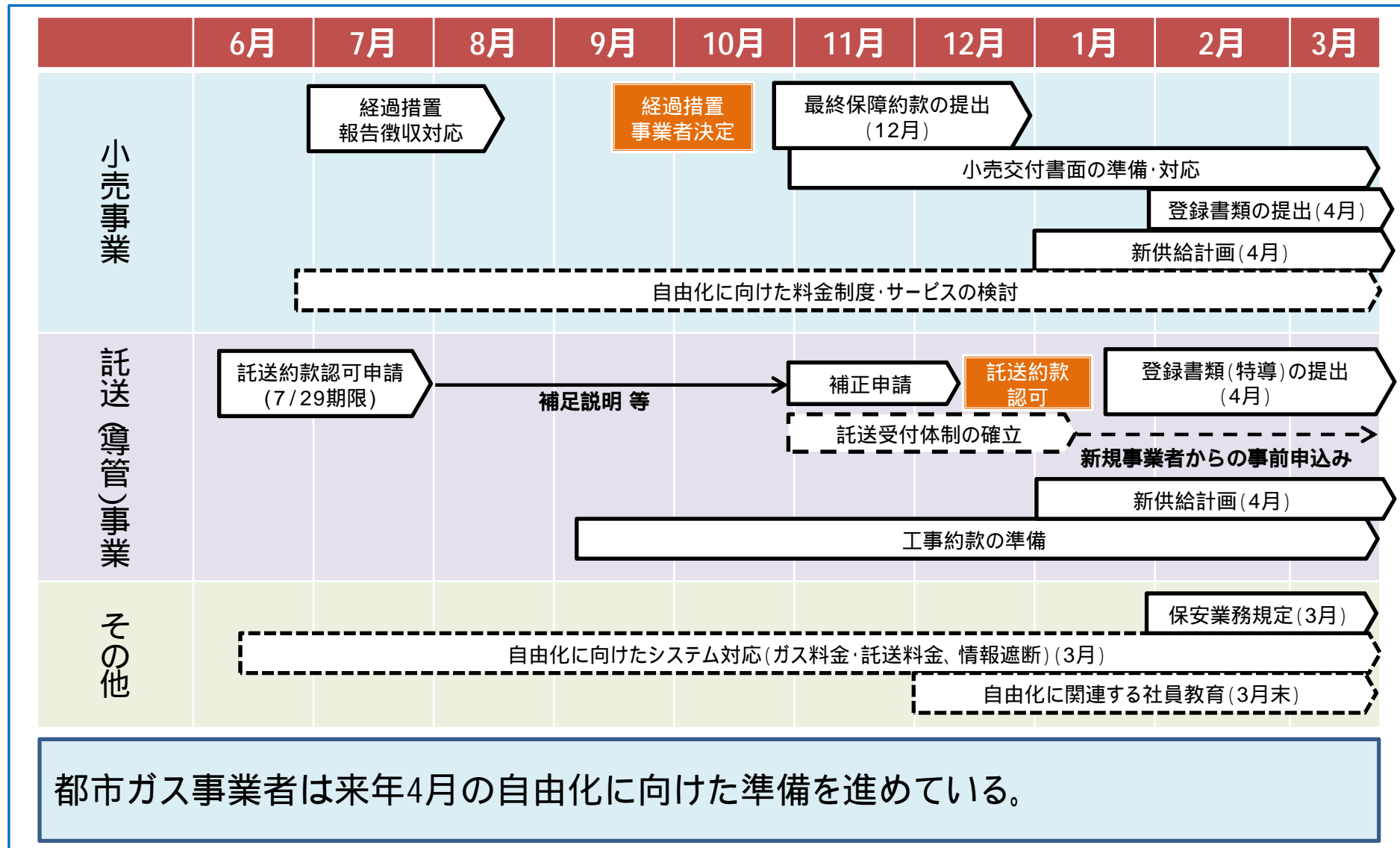
ガスの小売全面自由化の実施スケジュール



<参考> 電気の小売全面自由化の実施スケジュール



2. 小売全面自由化に向けた作業(事業者の実施項目)



3. 省エネルギーへの取り組み

都市ガスは一次エネルギーであり負荷平準化による省エネルギー効果はなく、きめ細かなデータ取得の必要性は低いためデータの取得は1ヶ月毎としている。

主に、高効率ガス機器（エネファーム、エコジョーズ、Siセンサーコンロ等）の開発・普及により省エネルギーに取り組んできた。

また、機器やエネルギーの組み合わせによりエネルギーの更なる高効率利用を目指し、お客さまのライフスタイルに合った省エネルギーを進めている。

さらに、都市ガスから熱と電気を同時に作るコージェネレーションを核として、熱や電気の相互融通やエネルギーマネジメントにより、地域単位で最適なシステムを構築する「スマートエネルギーネットワーク」に取り組んでいる。

3. 省エネルギーへの取り組み(情報提供)

< 大手4社の取り組み状況 >

毎月のエネルギー使用量の前年同月値に関する情報提供

- ・ 検針票に前年同月の使用量を掲載
- ・ 会員向けWEBページの活用

東京ガス株式会社



検針月	28年 1月分	1月12日	1月21日
検針日	1月12日	1月21日	
検針日	1月12日	1月21日	
検針日	1月12日	1月21日	
検針日	1月12日	1月21日	
検針日	1月12日	1月21日	
検針日	1月12日	1月21日	

次回検針予定日	2月 8日
前年同月使用量	50m³ (32日)
前月使用量	50m³ (29日)

過去1年間の月別のエネルギーの使用量・使用料金に関する情報提供

- ・ 会員向けWEBページの活用



3. 省エネルギーへの取り組み(情報提供)

< 大手4社の取り組み状況 >

高効率ガス機器や機器の使用方法の工夫に関する情報提供

- ・ ホームページへの掲載
- ・ 機器カタログの活用

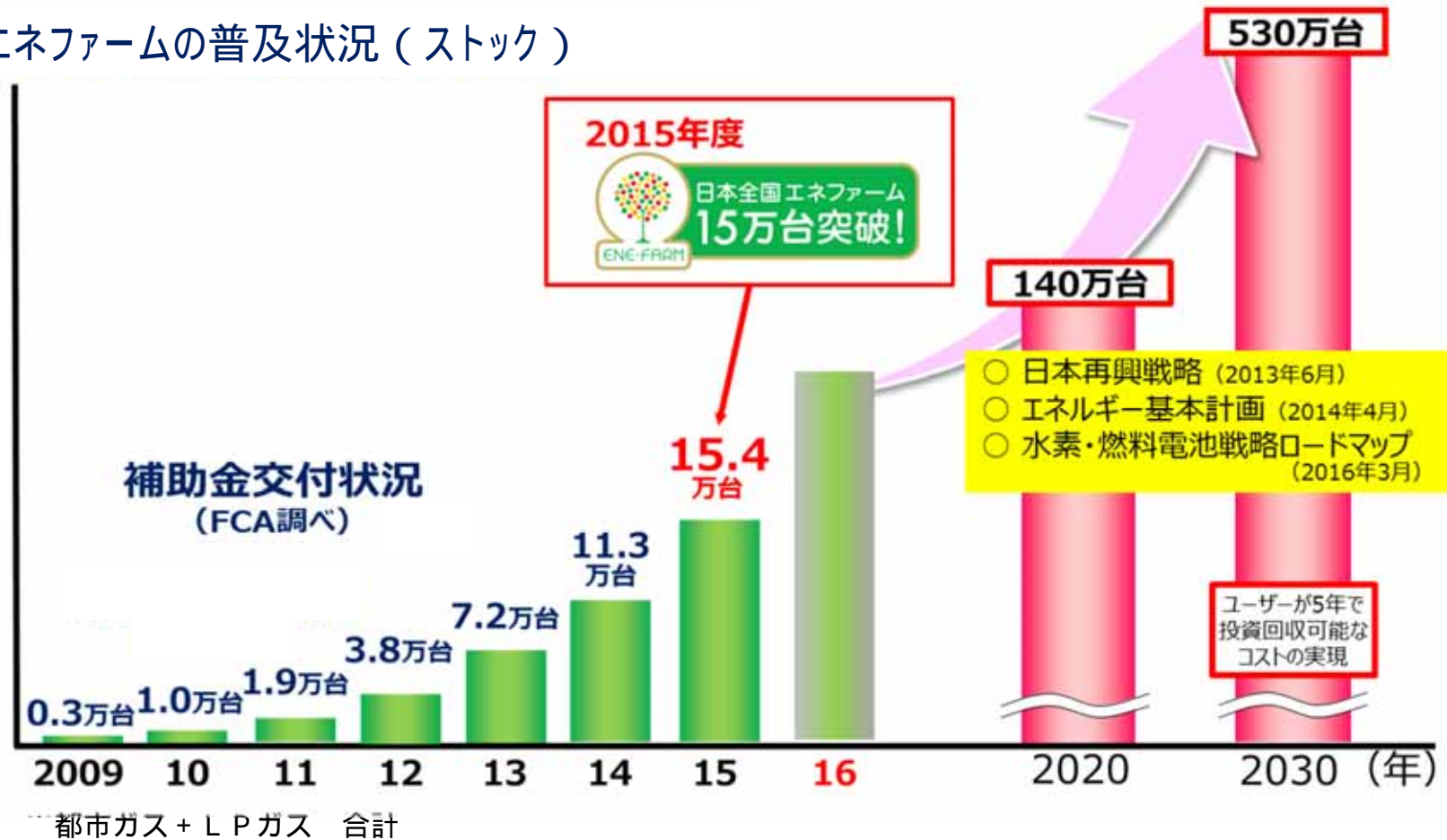
大阪ガス株式会社

西部ガス株式会社

3. 省エネルギーへの取り組み(エネファーム)

住宅における省エネルギーおよびCO₂削減に向けて、家庭用燃料電池エネファームの普及を推進。

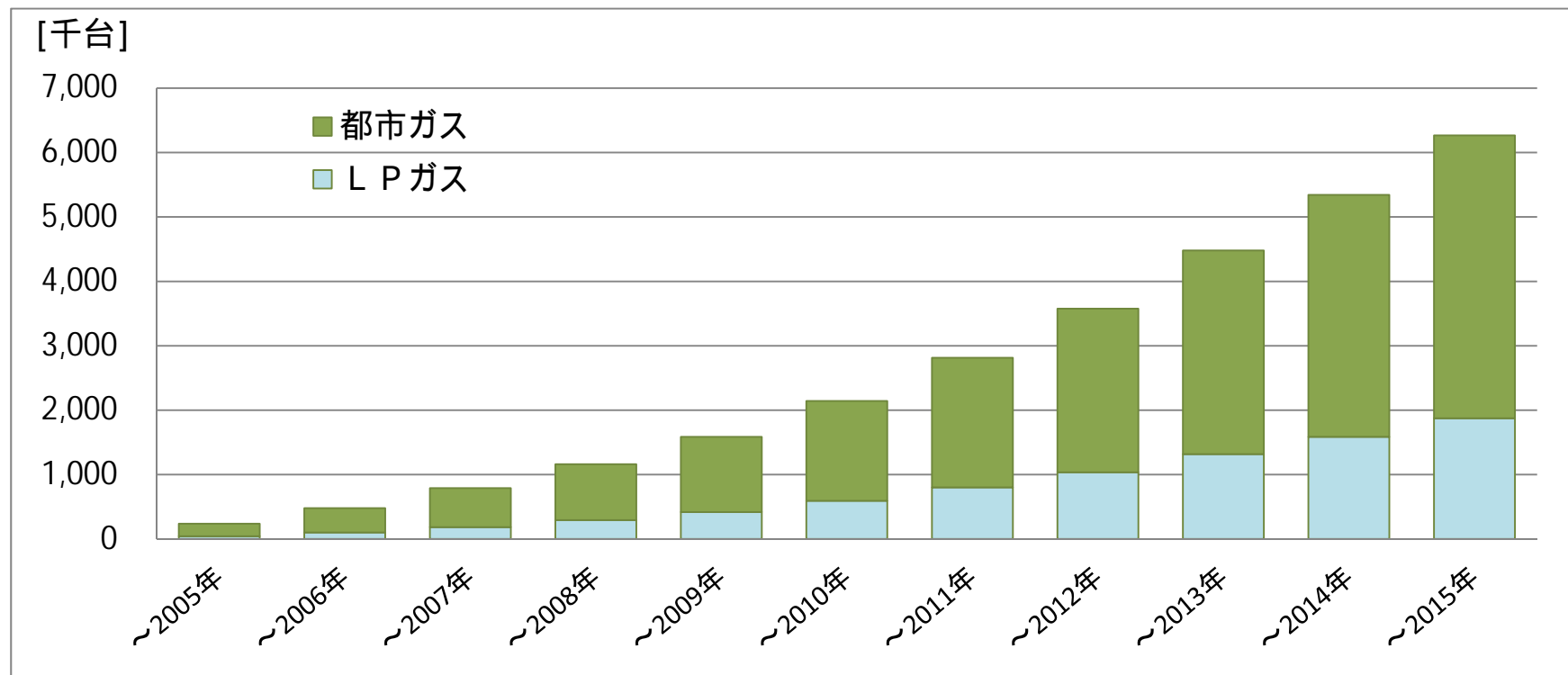
エネファームの普及状況(ストック)



3. 省エネルギーへの取り組み(エコジョーズ)

高効率給湯器エコジョーズをデファクトスタンダード化することを2013年に宣言し、普及を推進。

エコジョーズの普及状況(ストック)

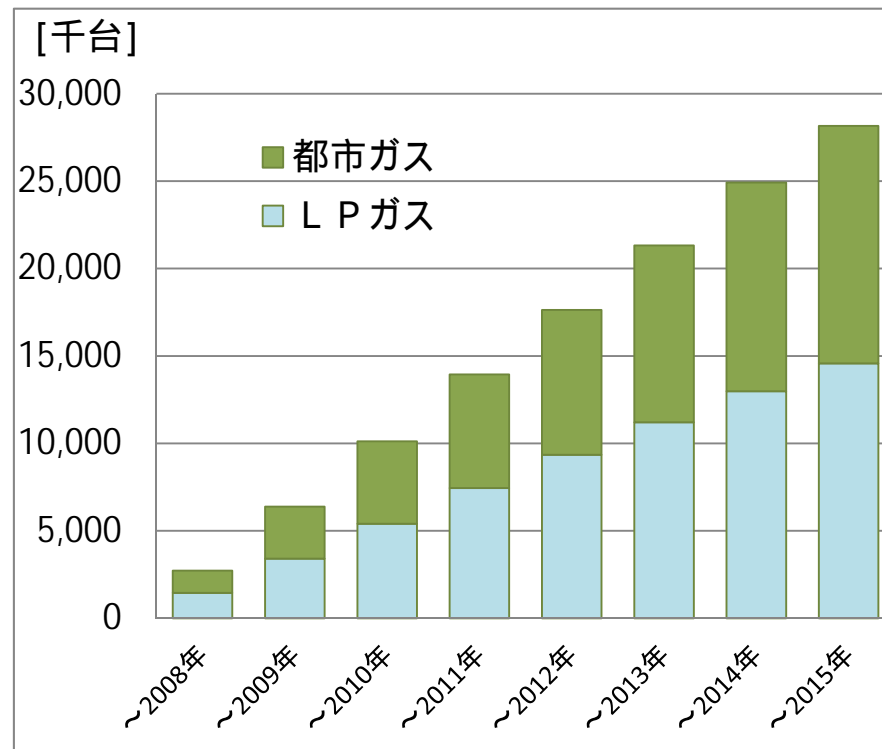


日本ガス石油機器工業会調べ

3. 省エネルギーへの取り組み (Siセンサーコンロ)

安心・安全に加えて省エネルギーに貢献する、Siセンサーコンロの普及を推進。

Siセンサーコンロの普及状況 (ストック)



日本ガス石油機器工業会調べ

Siセンサーコンロとは・・・

全てのバーナーに過加熱防止機能や消し忘れ防止機能、湯沸かし機能（一部機種）を持つセンサーを搭載し、無駄なガスを削減することで、安全だけでなく、省エネルギーにも貢献できるガスコンロ。

S (Safety · Support · Smile) + **I** (Intelligent)

便利
機能

湯沸かし機能

お湯が沸いたら自動的に消火します。一定時間保温したあと、自動消火するタイプもあります。



加熱中



お湯が沸くと弱火に



一定時間で
自動消火

3. 省エネルギーへの取り組み(暮らし創造研究会)

超高齢化社会および高度省エネ・省CO₂社会への移行を見据え、「健康・快適、安全・安心、省エネルギー・CO₂削減」につながる暮らし方を促す方策を、心理学・教育学・経済学等の最新の知見も取り込み研究。

暮らし創造研究会

効果・効能研究部会

主査：東京都健康長寿医療センター
高橋龍太郎 元副所長

暮らしの意識・行動研究部会

主査：東京都市大学
坊垣和明 名誉教授

超高齢社会の居住環境研究部会

主査：明治大学
園田真理子 教授

事務局

日本ガス体エネルギー普及促進協議会

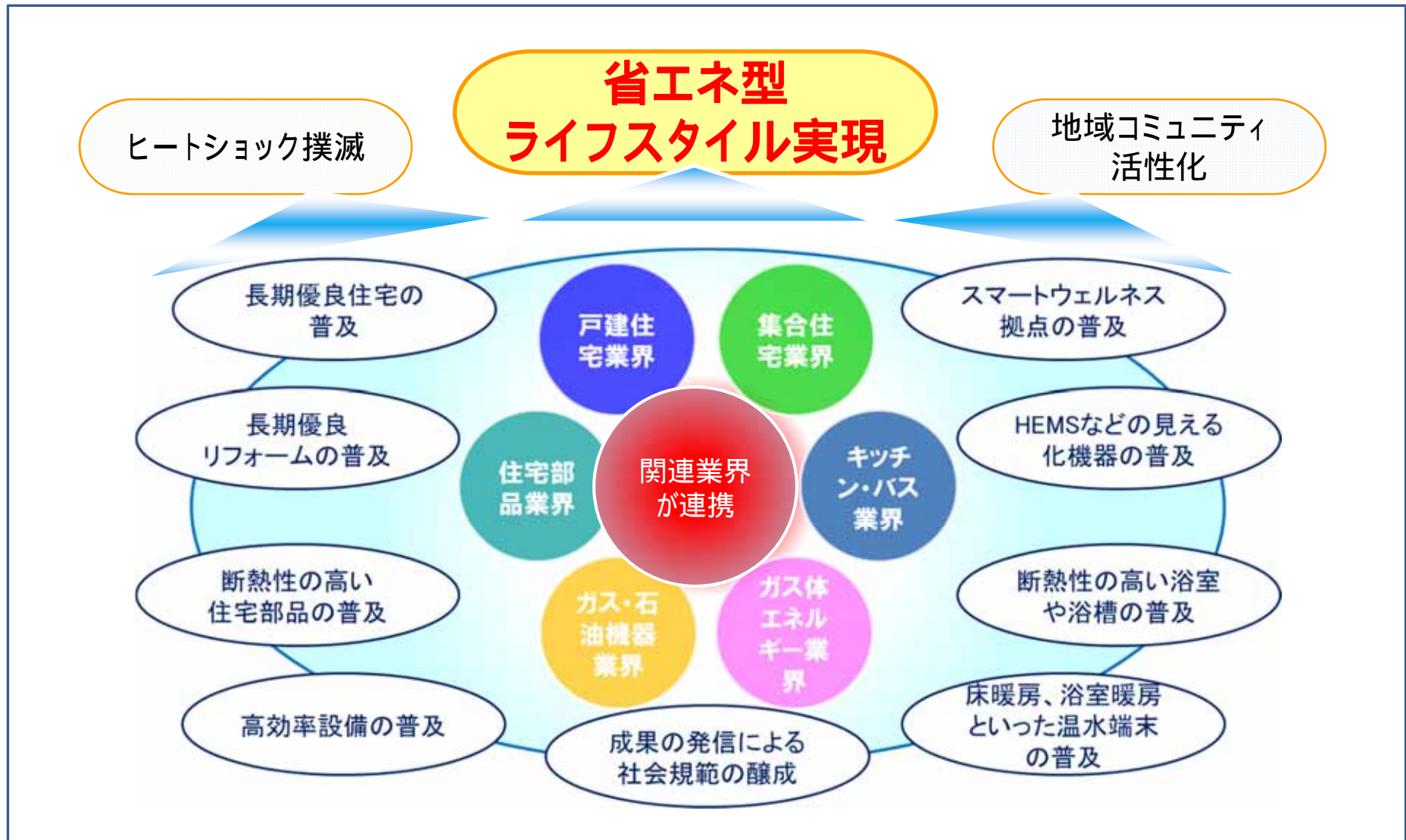
【幹事】

- ・ (一財) 建築環境・省エネルギー機構
村上周三 理事長
- ・ (株) 住環境計画研究所 中上英俊 代表取締役会長
- ・ (一財) ベターリビング 井上俊之 理事長

オブザーバー

厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省

3. 省エネルギーへの取り組み(暮らし創造研究会)



3. 省エネルギーへの取り組み(事例)

<スマートエネルギーハウス実証(大阪ガス株式会社)>

住宅での低炭素化を目指し、エネルギー・情報の工夫を取り入れた実験用ガス住宅において、燃料電池の省エネルギーポテンシャルの最大活用、快適性と省エネの両立、を目指して実証。



エネルギー：3電池

- ・燃料電池
- ・太陽電池
- ・蓄電池
(定置型 or 電気自動車)

情報：HEMS

- ・見える化(エネルギー、環境)
- ・自動制御(家電、ガス機器)
- ・アドバイス(省エネ、暮らし)

実証期間：2011年2月～2014年5月

3. 省エネルギーへの取り組み(事例)

< 磯子スマートハウス実証(東京ガス株式会社) >

省エネルギー化と分散型エネルギーの活用の観点から、集合住宅版ゼロ・エネルギー住宅を目指した実証事業を実施。

【建設地】横浜市磯子区

【住戸数】24戸(約75 m²/戸)

【実証期間】2012年4月～2015年3月

【実証概要】

家づくりの工夫
省エネ性と快適性の両立
「パッシブ設計」
再生可能エネルギー設備
家づくりの工夫
エネルギーの融通
統合制御システムの導入
暮らしの工夫
エネルギーの見える化
省エネ行動を促進する
インセンティブの設定



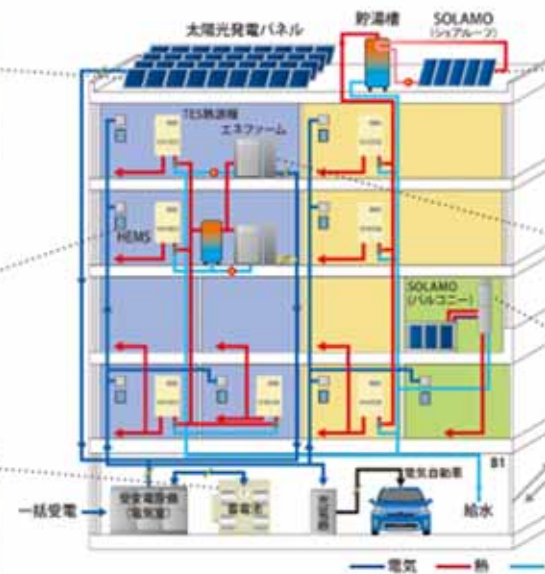
太陽光発電



HEMS



蓄電池



SOLAMO (シェアールーフ)



エネファーム



統合制御システム



SOLAMO (バルコニー)



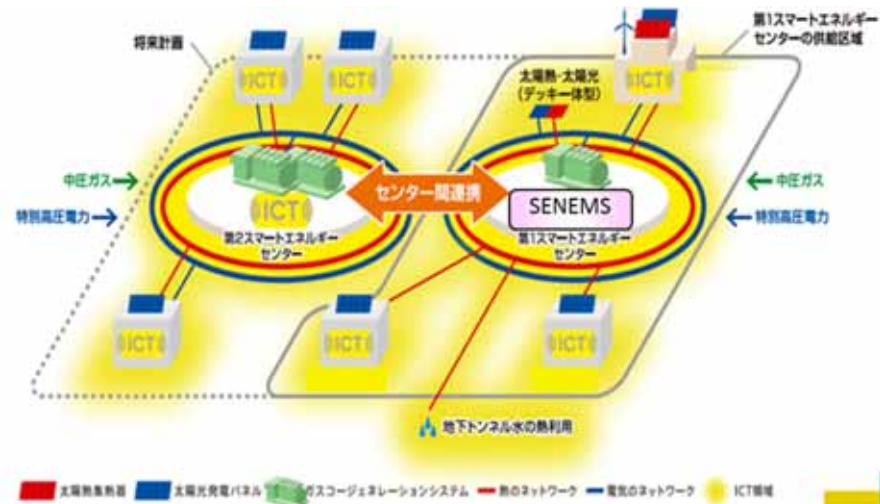
3. 省エネルギーへの取り組み(事例)

< 田町駅東口北地区 (東京ガス株式会社) >

港区・愛育病院・東京ガスグループが官民連携し、低炭素で災害に強いまちづくりを推進 (竣工2014年末)

コージェネレーションを導入し、次世代エネルギーマネジメントシステムの構築によりエネルギーの面的利用や再生可能エネルギーの活用を行い、大幅なCO₂削減を目指す。

- 特徴 熱・電気を効率的に供給するために、再生可能エネルギーを積極活用
- 特徴 コージェネを導入することで不安定な再生可能エネルギーを補うとともに、省エネおよびエネルギーセキュリティの向上を実現
- 特徴 ICTを活用し、スマートエネルギーセンターと複数の建物を熱・電気・情報のネットワークで連携し、エリアのエネルギー需給の最適制御・エネルギーの見える化を実施



SENEMS : スマートエネルギーネットワーク・エネルギーマネジメントシステム

おわりに

都市ガス事業者はその規模を問わず、これまでも他のエネルギーとの競合環境にあり、省エネルギー機器や安心・安全機器の普及を通して、お客さまに都市ガスをお選びいただけてまいりました。

これからも、お客さまの安心・安全で快適な暮らしに貢献するため、省エネルギーの促進につながる機器やサービスの提供にまい進してまいります。